

# 同朋新聞

どうぼうしんぶん

Dōbō Shimbun

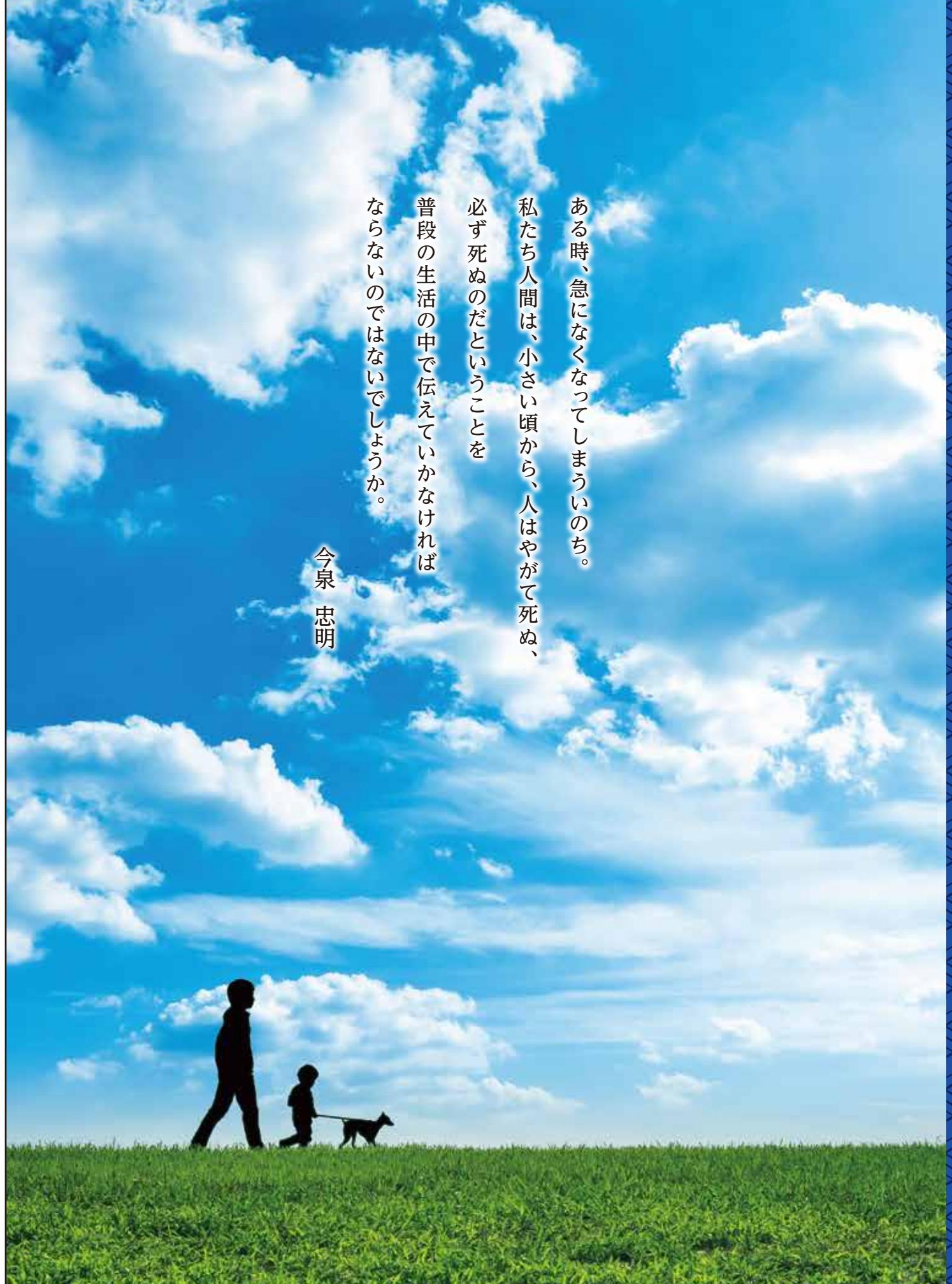
1

Vol. 782 January 2023

Shinran  
S50<sup>th</sup>  
SS800<sup>th</sup>

南無阿彌陀仏  
～へ慶讃テーマ～

人と生まれたことの意味をたずねていこう



## 今月の写真

草原を散歩する親子。  
散歩をしながら何を話しているのだろう。  
さまざまな縁によって今、私のところにつながっているのち。その事実に向  
き合い、生活の中で周りの人とそのことを共有する時と場が私たちに求められ  
ている。(2・3面参照)

## CONTENTS

2・3面

人間といふいのちの相  
生き物たちが  
教えてくれること(後編)  
今泉 忠明さん



6・7面

新春対談  
伝えるということ  
桂小春團治さん  
×  
木越涉宗務総長



4面

現在を生きる

御同朋・御同行からの問いかけ  
～是旃陀羅の課題～ 第14回

5面

親鸞聖人にであう

第6回

聞 今月の法話 第28回

10・11面

慶讃NEWS

岡崎教区  
岐阜高山教区  
大阪教区  
慶讃法要お待ち受け大会  
開催



慶讃特設サイト

検索

発行所  
真宗大谷派宗務所  
代表者 木越 涉

編集／東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)  
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る  
TEL075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料  
送 料 1部 1ヵ年1,300円(部数により変動)  
振替口座番号 01000-6-27404  
加入者名 東本願寺出版部

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要

[第1期法要] 3月25日～4月8日 [讃仰期間] 4月9日～14日 [第2期法要] 4月15日～29日

# 連載 大間 といういのちの相すがた



どんな情報を伝えていくのかが大切ですね。

そうですね。大人が、これは汚い、怖い、危ないと言えば、必ずそれは子どもに伝わっていくのです。大昔は、これが安全につながったのでしょうか。生き物とのふれあいについて言えば、子どもたちは好奇心が勝つっていますから、自分から動物と触れあいますから。それを大人の判断でやめなさいと言つてしまふと、子どもたちが不必要に怖がつたり、嫌がつたりする状況が生まれてしまします。

また、人間が新しいことを身につ

生物のDNAに組み込まれて いるのは、増えるということです。動物が生きるということは子孫を残し、増えるということです。人間だけではなく、文化を伝えるということがあります。人間の特性である思いやりや感謝の気持ちを大切にしてほしい。そのことを子どもたちに伝えていきたいと思つています。

ミツバチの集団の2割はさぼつて いると言われています。働き蜂がせつせと働いているのだけど、2割はさぼつている。「ざんねん」なハチたちが すか。

また、「さんねんないきもの事典」では、さまざまな生き物の多様性を紹介してきました。人間も同じで、いろいろな人がいていいのです。そして、強者だけが繁栄するのではなく、小さいもの、弱いものが生き残るためにそれぞれ工夫して、一生懸命に生きている様子も紹介してきました。だから人間も、誰かと自分を比べて必要以上にがんばらなくてもいいと思います。好きなことを見つけて、「なぜだろう」「面白い」という好奇心を大切に、自分から何かを知ることを楽しんでほしいと思います。

のだ」ということをゆっくりと考える場や時。そして、そのことを周りの人たちと共有することをあらためて大にしたいと思うのです。感謝する気持ちがなくなつたら、人間は人間でなくなつてしまふのではないでしようか。

生物学は、生命の起源を探究する学問ですが、どうしたらいのちが存在するのかということが、まだわかつていなのです。DNAの構造はわかつても、そこにいのちは入つていな、つまり、生きていなのです。生きるということが、いまだにわからぬのです。また、同じような傷を負つても、なくなる人と生きている人がいます。ある時、急になくなつてしまふのち。私たち人間は、最後

は必ず死ぬということをたたき込まれていないように思います。小さい頃から、人はやがて死ぬ、必ず死ぬのだということを普段の生活の中で伝えていかなければならぬのではないでしょうか。

——死を学び伝えるために具体的に実践できることは何でしょ  
うか。

一番は、ペットを飼うことです。ペットは自分より寿命が短い。いのちがなくなることを感じることができます。子どもは、死ぬということを怖がるかもしれません。しかし、生き物というのはいつか死ぬんだということを暗に思う、そのことが大事ではないかと思います。

——私たち大人が、子どもたちに

いるということが最近わかりました。その2割を取り除くと、また別の2割がさぼりだします。常に2割がさぼっているのです。その2割のハチは何のためにいるのかというと、種が絶滅しないために、敵に会って全滅しそうになると、復活するのです。種の全滅を免れるのは、サボっていたハチたちがどこかへ行つて時間をつぶして帰つてきて、「みんな、いないじゃないか」と、もう一度作り直すことができるからなのです。

生き物の残念な部分というのは、他のものの役に立つてているという意味では、常に役に立ちますし、あつていいのです。むしろ、残念なところが何もない生き物はいないと思います。

——今泉さんが監修されました』では、『わけあつて絶滅しました』では、絶滅した生き物たちが自らの絶滅理由を語っています。人間もいざれ絶滅する可能性があるのでしょうか。

今のままだつたら、人間は確実に絶滅すると思います。人間は、生きるための知恵や文化を伝承し、栄えてきました。しかし、お金が発明されて以降、欲が出てきて生きること以上にもつと栄えたいという欲を文化の中でかきたててきたのではないでしょうか。その中で人間関係がぎくしゃくしてきているのではないかと思います。少し前までは、安心して山を歩けたり、ドアに鍵をかけなくとも不安がないという文化がありました。それが、今は人

もし「地球に星がぶつかって絶滅する」となった時でも、みんなで他の星に移住すれば人間は絶滅するとはないでしょう。しかし今は、その宇宙船を横取りする欲深い人がいるような状況ではないでしょうか。戦争もそうですが、自分のことしか考えないという人間のエゴによって絶滅に向かってしまうのではないかと思います。

人間の特性は、思いやりです。人間は次の世代にいのちをつないでいくために何ができるだろうと考えて行動する「いい人」がもっと多かつたのではないかと思います。おじいちゃん、おばあちゃんは孫のためなら、自分の思いを超えて何かをしてあげたいと行動することが多いのではない

動物は葬送しない

——人間の特性は思いやり。他者の存在に目を向けるということはとても大切なことだと思います。動物と人間の違いについてもう少しお尋ねしたいのですが、動物に死生観というようなものはあるのでしょうか。

動物に他のものを悼むという気持ちはありません。ゾウが仲間の遺体に近寄ったり触れたりする様子を「ゾウの葬式」とテレビで流れることがあります。それは亡くなつた仲間のことを、いつまでも寝ていて、いつもと様子が違うと思って、起

るのではないかという気がしてい

「死が腐り始めると、これは違うな」とお母さんは、そこから去ります。チンパンジーも自分の赤ちゃんが死んだ時、腐るまで抱っこします。動物はいつもと違うという感覚はありますが、死を理解していないのです。

死を理解できるのは、人間だけなのですね。動物と人間の違いとして、葬送を行うかどうかという考え方もありますが、どのように考えることができるでしょうか。

さまざまな説がありますが、動物と一緒に死を理解していなかつたと言われる人間は、約3万年前に死を理解し始めたと言われています。イラクの北部の遺跡から発掘されたシャニーダール人の埋葬跡の周りの土を調べると、たくさんの花粉が確認

# 生き物たち 教えてく 人間は絶滅する？

ちが  
れる」と「後編」

インタビュー ● 今泉 忠明さ  
いまいすみ ただ あき

どもの本総選挙」で「 から始まります。合理的、経済的な効果を追い求め、自分の都合で  
なんないきもの事典」で「 さまざまのちをはかり、意味づけようとする私たち人間。さ  
一生懸命なのに、ど」 んねんないきものたちの姿は、私たちに何を伝えているのでしょ  
今泉忠明さんの言葉 うか。先月に続き、今泉さんのお話を通じて、人間の相を考えます。

と人とのつながりも薄くなつてし でしようか。他者を思つて行動する。  
まって「人を見たら泥棒だと思え」 そういう人が増えていくことを願つ  
と、人を疑うようになつてしまつて ていますし、きっとそういう世界にな  
まつた

A photograph of a man in a blue jacket standing in a forest. He is pointing towards the camera with his left hand and holding a small device, possibly a camera or a sensor, against a tree trunk with his right hand. The background is filled with dense green trees.

この紙面では、さまざまな人を通して、  
現代社会の抱える課題や  
人間そのものについて考え、  
**宗祖御遠忌テーマ**  
「今、いのちがあなたを生きている」、  
**寔讃テーマ**  
「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの  
意味をたずねていこう」  
の学びを深めていきたいと思います。



——あらためて生き物の不思議さ、じのちの當みについて教えていただきました。ありがとうございました。(→)

分一人の力で生きていると思い込んでいたからこそ自分が存在できているのかもしれません。「この人が

「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」







南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

第28回

## 仏の世界が我が身を照らす

福井教区 第3組 應善寺 葦埜 純一

開

今月の  
法話

「仏法は、聴聞にきわまることなり」（「蓮如上人御一代記聞書」と教えられているように、真宗門徒は昔から仏法聴聞を大切にしてきました。日々の生活の中で仏さまの教えを聞いていただくことを願いに、毎月一話ずつ掲載します。）

自分とは何であるのか、つくづくそのことを思ひざるを得ない毎日を送っています。

自分の役割は何であるか、家庭や職場という場、教員や僧侶の立場など、さまざまに求められている存在を演じ続け、その結果として他者の承認を得て満足する。それを繰り返している自分がいます。時には相手の要求にこたえられずに失敗することもあり、「私は何とダメな人間なんだ」と思い至ります。そこから反省をして、次は失敗しないようにと意気込み、自分をよりよいものとして着飾つていくことで何とか生きています。

「頑張れ」。自他を鼓舞するこの言葉と向き合うと、必ずある出来事を思い出します。

十年ほど前、福井教区で福島の子どもたちに夏休みに一週間ほど過ごしてもらう保養事業がありました。私もスタッフの一人として子どもたちと遊んでいました。ある時、一人の少年がぼそつとこう言いました。「：頑張るって辛いことだよね」と。聞いていたのは私だけでしたが、確かにその少年は私に向かっ

てこう言いました。突然その言葉を聞いて、私は何と返事をしたらいいのかわかりませんでした。そのことしかできませんでしたが、頑張つて着飾つていくあり方を苦しんでいるように感じてなりませんでした。当時CMなどでは「頑張ろう」という言葉が喧しく言われ、それは世間ではとても大事なことです。

あり、いい言葉として用いられています。相手の要求にこたえられずには何気なく出てくる言葉ですし、とりあえずこの言葉を使っておけば世間では問題ないのだと思いまます。相手に送る言葉としてこれほど便利な言葉はないでしょう。

しかし、それを何度も言われ続けているうちに、自分の頑張りがまだ足りないのだ、と思い至ってしまふことがあります。すると私たちには気づけていないでしようか。そして、言葉を受け取る相手に対して鈍感になつてはいないでしようか。

「頑張れ」と相手に送ることは、しかし、もう一面では、相手を締めつけることになり得るのです。かつて、京都の大谷高等学校に

在籍していた際、当時の学校長であつた真城義磨先生の法話で教えられたことがあります。それは「頑張れ」という言葉がけは相手に価値付けをしてしまう。今のあなたでは不十分だから、「さらに、張つて着飾つていくあり方を苦しんでいます。他人事や学問の問題で

もつと」と相手に要求することになりました。今でも激励や応援する時には何気なく出てくる言葉です。しかし、自他ともに自分の物差しを用いて価値を測ろう計ろうとすれば世間では問題ないのだと思いまます。相手に送る言葉としてこれほど便利な言葉はないでしょう。

しかし、それを何度も言われ続けているうちに、自分の頑張りがまだ足りないのだ、と思い至ってしまふことがあります。すると私たちには気づけていないでしようか。そして、言葉を受け取る相手に対して鈍感になつてはいないでしようか。

一面では相手を勇気づけたり、元気づけたりすることもあります。しかし、もう一面では、相手を締めつけることになり得るのです。かつて、京都の大谷高等学校に

自分の物差しはいつ手放すことができるのでしょうか。それは死ぬまで手放すことはできないのでしょうか。私たちの煩惱の炎はそれほど盛んに燃えているのです。「煩惱具足の凡夫」と親鸞聖人がおっしゃったことの意味が今こそ私に問われています。他人事や学問の問題ではなく、我が身の逃れられない問題としてどのように引き受けていくのか。今日もご本尊を仰ぎ、愚かであつた自分を確かめる日々が続

読者の  
お便り募集

『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール／  
shuppan@higashihonganji.or.jp  
FAX／075-371-9211  
〒600-8505  
京都市下京区烏丸通七条上る  
東本願寺出版「同朋新聞編集係」  
◇住所・氏名・電話・電子番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

東本願寺御用達  
日下念珠店

〒600-8174  
京都市下京区烏丸通花屋町下ル  
電話 (075)351-6325  
FAX 0120-89-5255  
定休日：日曜日

## 皆様の平安

平安は三つの信念で精進しています

- ①優良な商品を吟味し御調製
- ②価格も出来る限り勉強
- ③親切と誠意あるサービス

法衣、打敷、幕、会旗、念珠、  
稚児貸衣裳

御本山用達

平安法衣店

京都市下京区東本願寺大門前(〒600-8153)  
電話 京都(075)351-3681(代)  
FAX (075)351-5563

## 一般入試

試験制度	出願期間	試験日	合格発表日
第1期	12月19日(月) ～ 1月18日(水)	[3教科型] 2月4日(土)/5日(日) [2教科型] 2月4日(土)/5日(日)/6日(月)/7日(火)	2月15日(水)
大学入学 共通テスト利用入試	締切日消印有効	[3教科型] [2教科型] 1月14日(土)/15日(日) 大学入学共通テスト (本学での個別学力試験等は課しません)	

★一般入試[第1期]では  
京都(本学)以外に学外試験場を設けています!

お問い合わせ：入学センター  
〒603-8143 京都市北区小山上総町  
TEL: 075-411-8114(直通)  
E-mail: nyushi-c@sec.tani.ac.jp

入試情報、  
資料請求は  
こちらから

QRコード

Be Real  
大谷大学



## 大阪教区 宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讚法要お待ち受け大会 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう —みんなに願いがかけられている—



院、堺支院)をサテライト会場とし、さらにはご自宅等からも視聴できるよう、YouTubeでのライブ配信も行われました。難波別院での招待者、募集参加者172人に加え、ライブ配信での参加者100人、スタッフ60人の合計332人が参加しました。

大会当日は、木越渉宗務総長の挨拶の後、勤行があり、引き続き大谷暢裕門首の挨拶がありました。その後、一楽真氏(大谷大学学長・小松教区宗圓寺住職)による記念講演が行われました。

一楽氏は、「智慧光のちからより 本師源空あらわれて 浄土真宗をひらきつつ 選択本願のべたまう」(『真宗聖典』498頁)というご和讃を紹介し、浄土真宗を開いたのは法然上人であるという親鸞聖人の姿勢を教えてくださいました。その上で、幾度の法難(専修念佛の弾

10月29日、難波別院(大阪市中央区)を会場に、慶讚法要お待ち受け大会を開催しました。本大会は一人でも多くの方の参加を願い、教区内別院(天満別院、八尾別院大信寺、茨木別院、大和大谷別

院)を縁として、法然上人の教えの意義をあらためて頭かにされたのが親鸞聖人のお仕事、ご苦労であり、法然上人と親鸞聖人、お二人で浄土真宗を開闢されたと力強く語られました。堂内にお念佛の声が響きわたる中、最後に溝口重雄教区門徒会長が挨拶し、大会が閉会しました。参加者からは、「親鸞聖人の辿ってこられた道がよく理解できた。本山での慶讚法要は連れていかれるという感覚ではなく、自ら参加したいと思えるようになった」(10歳男性)、「サテライト会場で参加し、はじめは違和感があったが、いつの間にか気にならなくなつた。今後もこのような取り組みを継続してほしい」(70代女性)との声が聞かれました。

大阪教区では教区基本テーマ・教区慶讚テーマとして「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう—みんなに願いがかけられている—」を掲げています。本テーマを道標として、3月からの慶讚法要、そして2025年度以降に予定されている大阪教区慶讚法要に向けて、50年に一度のこの勝縁を大切に歩んでいきたいと思います。

なお、一楽氏の記念講演は記念冊子として発行する予定です。  
(大阪教区通信員 志紀正機)



### 家族やお友達を誘ってぜひ慶讚法要にご参拝ください どなたでもお申込いただける「一般参拝(指定席)」の募集が始まっています



募集期間

2022年12月1日～2023年2月中旬

「一般参拝(指定席)申込書」に必要事項を記入のうえ、教区団体参拝受入センター(下記)へメールまたはFAXにてお申込ください。また、必要事項を直接入力し、メールでお申込みいただくこともできます。

- ・空席がある日に限り、先着順にて受け付けます。
- ・参拝席の指定はできません。
- ・参拝席・お斎・慶讚寄席セットに加え、自由席でのご参拝で「お斎のみ」「慶讚寄席のみ」の申し込みも受け付けています。

申込・空席状況についてこちらから



法要や催事の詳しい情報を掲載!  
「慶讚法要パンフレット」ができました



参拝の計画の一助に、ぜひご活用ください。パンフレットは寺院・教会を通じてお求めください。

ダウンロードは  
こちらから



申込・お問い合わせ TEL 075-371-9212 FAX 075-371-9204  
教区団体参拝受入センター メール dantaisanpai@higashihonganji.or.jp

### 慶讚法要ボランティア募集!

「慶讚法要ボランティア」としてご協力いただける方を募集しています。真宗本廟で、全国の御同朋とともに慶讚法要をお迎えしませんか。多くの方々の参加をお待ちしております。

募集対象 真宗大谷派の僧侶・門徒・関係学校の学生

応募方法 所定のエントリーシートに必要事項を記入のうえ、右記応募先まで郵送またはFAXにて提出ください。

※エントリーシートは宗派ホームページよりダウンロードできます。

※郵送をご希望の場合は右記「慶讚法要ボランティア募集係」へご連絡ください。

応募締切 2023年2月28日(火)

募集内容 ①清掃・接遇業務 ②境内催事「憩いのひろば」「子どものひろば」のお手伝い

応募・お問い合わせ 真宗大谷派宗務所総務部 慶讚ボランティア募集係  
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地

TEL:075-371-9272  
FAX:075-371-1214

※詳細は慶讚特設サイト「お知らせ」をご参照ください。



# きょう さん 慶讃 NEWS

今月は、岡崎教区、岐阜高山教区、大阪教区で開催されたお待ち受け大会の様子をお伝えします。

※教区お待ち受け大会の報告は、浄土真宗ドットインフォでご覧いただけます。



## 岡崎教区 宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け大会 — 今の時代だからこそ —

10月13日、岡崎教区会館大ホールにおいて慶讃法要お待ち受け大会が開催されました。

大会に先立ち、三河別院本堂において大谷暢裕門首の剃刀による帰敬式が行われ、45人が仏弟子としての名告りである法名をいただきました。歩み出されました。新型コロナウイルス感染対策として、大会への参加は帰敬式受式者と教区役職者に限定し、YouTubeにてライブ配信を行い、併せてサテライト会場も設けて計約200人が参加しました。

開会の前には、慶讃テーマソング「あなたのこえ」が教区合唱団コールアーバーによって披露され、参加者は配布されたパンフレットの歌詞に目を通しながら合唱の旋律に耳を傾けました。

続いて、「浄土真宗の名のり—五濁悪世の只中で学ぶ—」を講題に、尾畠文正氏(三重教区泉稱寺前住職・同朋大学名誉教授)の記念講演がありました。尾畠氏は「暴力に対しては暴力だ、という価値観が広まる現代において、浄土真宗が今明らかにならないと本当の平



帰敬式の様子

和も本当の平等も見いだせない。だからこそ自信をもって浄土真宗を明らかにしていくことが今願われており、先人たちは暴力の連鎖を超えていく生き方をお念仏の教えにいただかれてきた」と語り、最後は「自分中心の考えでは平和を求めて戦争をするが、それを問い合わせるが仏法であり「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」と親鸞聖人が続けて言わされたところに本当の平和、本当の安穏がある」と締め括られました。

親鸞聖人は800年も前から「五濁悪世」と時代をいただきながらお念仏の教えを明らかにしてくださいました。近頃はコロナ下や戦争のニュース等、目を伏せたくなるような現代社会の問題が浮き彫りになり「五濁悪世」と思う方も多いかと思います。そのような今の時代だからこそ、教えに我が身を問い合わせていく重要さを知らされた大会であったと感じました。

なお、大会の様子は「真宗大谷派岡崎教区」YouTubeチャンネルのアーカイブ配信においてご視聴いただけます。



(岡崎教区通信員 上野 瞭)

## 岐阜高山教区 宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け大会 — 「場の創造」(真宗の宗風の回復・仏事の回復)と人の誕生(仏弟子) —



高山別院にサテライト会場を設置し、岐阜・高山地区がひとつになつて大会をを迎えました。

岐阜地区教化センター長の近藤龍磨氏が制作した大会テーマソング「南無阿弥陀仏」が会場内のBGMとして流れる和やかな雰囲気の中で参加者をお迎えし、慶讃法要をお迎えする慶びを感じながら大会が開会しました。

同朋唱和による「正信偈」の勤行の後、引き続き大谷裕新門、尾畠英和参務の挨拶がありました。その後、澤邊恵亮氏(飛騨御坊真宗教化センター育成部会副幹事)より、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」のもと、「場の創造」(真宗の宗風・仏事の回復)と「人の誕生」を教区重点課題とし、岐阜地区・

10月16日、岐阜別院において慶讃法要お待ち受け大会が開催され、教区の課題を確認・共有する場として寺院代表、門徒会等各組織の代表者約270人が参加しました。高山地区には、

高山地区それぞれで創ってきた土徳としての「同朋唱和」を回復し、ひとりでも多くの人が仏弟子としての名告りをあげて歩む「帰敬式」を推進していくことが呼びかけされました。

続いて、「浄土の真宗は証道いま盛りなり」という講題で、梶原敬一氏(姫路医療センター小児科医長・真宗大谷派僧侶)による記念講演が行われました。梶原氏は、「現代を生きる私たちに降りかかる問題は容易に解決できないが、その状況を超える道を親鸞聖人は証道と顕かにされた。その教えを託された私たちにとって、この慶讃法要は聖人の言葉に向き合い、真宗とは何かという原点に立ち返る絶好の機会」と、時に今の私たちの姿に危機感を訴えつつ、親鸞聖人の姿をたずねられました。

教区改編後、コロナ下で諸行事も両地区でひとつに集うことがなかなか難しい状況ではありますが、この大会の円成で一体感を感じ、今後も手と手を取り合って「ともに」歩む教区であり続けることを願います。



(岐阜高山教区通信員 川並秀樹)

### 慶讃テーマリーフレット(PART4)を発行



このたび、宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」を周知するためのリーフレット(PART4)を発行しました。

今回は、宮下晴輝氏(教学研究所長)がテーマについて執筆しています。その他、慶讃テーマに関する法話を視聴できるホームページのQRコードも掲載していますので、併せてご視聴ください。

リーフレットを手がかりに、慶讃テーマからの問い合わせを深めていただくことを願っていますので、ぜひ『同朋新聞』と同様に、仏事の場や同朋の会などでご活用ください。

このリーフレットは、お手次の寺院・教会を通じてお求めください。なお、慶讃法要特設サイト(右記のQRコード)からもダウンロードできます。



入館状況については、研修部まで  
お電話でお問い合わせください。

# 2023年 真宗本廟奉仕のご案内

真宗本廟奉仕を機に、  
ぜひ 帰敬式 を受式ください。

## ◆真宗本廟 おみがき奉仕団

2泊

3月2日(木)~4日(土)

1泊

3月2日(木)~3日(金)

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚法要を迎えるにあたって、阿弥陀堂や御影堂の仏具のおみがきを日程の中心とした奉仕団です。

申込締切 2023年1月20日(金)

## ◆「慶讚法要奉仕団」・「讚仰奉仕団」・「真宗本廟奉仕 体験奉仕団」

### [第一期法要期間]

- 2泊 ①3月25日(土)~27日(月)  
2泊 ②3月28日(火)~30日(木)  
2泊 ③4月 1日(土)~ 3日(月)  
2泊 ④4月 6日(木)~ 8日(土)

### [第二期法要期間]

- 2泊 ⑤4月15日(土)~17日(月)  
2泊 ⑥4月18日(火)~20日(木)  
2泊 ⑦4月21日(金)~23日(日)  
2泊 ⑧4月24日(月)~26日(水)  
2泊 ⑨4月27日(木)~29日(土)

### [讚仰期間]

- 2泊 ①4月 9日(日)~11日(火)  
2泊 ②4月12日(水)~14日(金)

詳しくはこちら



申込締切 2023年2月24日(金)

「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讚法要」の期間に募集している奉仕団です。慶讚法要にお遇いする大切な時を一緒にお迎えしませんか。

※「真宗本廟奉仕 体験奉仕団」は上記「慶讚法要奉仕団」期間中に開催いたします。

参加費(共通) (2泊3日) 18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円  
(1泊2日) 13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円

※上記は大人(15歳以上)の場合です。※讚仰奉仕団は「御旧跡参拝参加費」として別途5,000円が必要です。

## 【お問い合わせ】同朋会館・研修部 TEL:075-371-9185

- 受け入れ状況などの情報は、同朋会館ホームページでご覧いただけます。
- ご入館される皆様に安心してお過ごしいただけるよう、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施し運営しています。
- 具体的な対策については、同朋会館ホームページよりご確認いただけます。



真宗本廟奉仕  
参加者の声を  
ご紹介

普通の日常では味わえない体験ができ  
本当によかつたと思いました。  
地域、時代を超えていろんな方々と  
つながることができました。  
(70代・女性)

今月号の『同朋新聞』を読んで、

プレゼント付 クロスワードパズルを完成させよう！

### タテのカギ

- 『現在を生きる』今月は、「た〇〇〇教区」の沖田泰子さんを紹介しています。(4面)
- 慶讚法要への参拝と併せて、東本願寺の諸殿や「し〇〇〇い園」でお斎をお召し上がりいただくこともできます。(10面)
- 月刊誌『同朋』1月号の特別企画は、「本〇〇ってなんだろう？」です。(12面)
- 『親鸞聖人にあう』法然上人は、「みま〇〇〇〇〇」にお生まれになりました。(5面)
- 「人間〇〇〇〇〇のちの相」今泉忠明さんは、「わけあって絶滅しました」の監修を手がけられました。(2・3面)
- 『慶〇〇〇一マリーフレット(PART4)』が発行されました。(11面)
- 今号では、岡崎教区、岐阜高山教区、「〇〇阪教区」お待ち受け大会の報告が掲載されています。(10・11面)

読者のこえ  
(10月号を  
読んで)

◆来年、久しぶりに「親鸞展」に合わせ真宗本廟に参拝する予定です。涉成園の桜が見頃であればなおうれしいです。  
(60代男性)

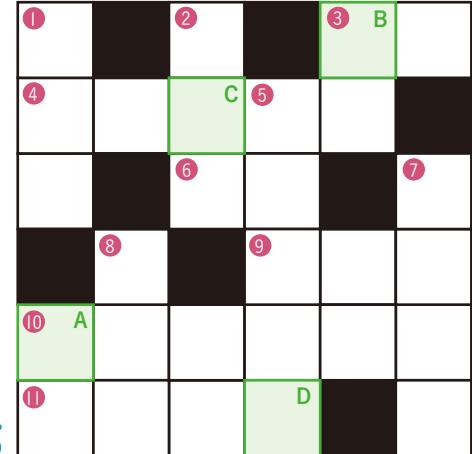
◆内容がむずかしいですが、おじいちゃんに教えてもらひながら、いつも楽しくクロスワードをやっています!(8歳女性)

### ヨコのカギ

- 昨年10月31日に阿弥陀堂門の修復が完了し、11月12日に「通り〇〇式」が行われました。(9面)
- 江戸時代に成立した落語は、「〇〇〇〇〇〇」のお説教から派生したと言われています。(6・7面)
- 『聞一今月の法話』今月のタイトルは、「仏の〇〇いが我が身を照らす」です。(8面)
- 「御同朋・御同行から〇〇〇かけ」今月のテーマは、教学です。(4面)
- 11月21日に、御正忌報恩講讚仰法要が「〇〇〇〇〇〇要」で勤まりました。(9面)
- 『現在を生きる』今月のテーマは、「〇〇〇〇〇育てていただいた人生」です。(4面)

※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

答え A B C D



11月号のクロスワードパズルの答えは、  
は  
つ  
さ  
し  
も

## チャレンジ！ 正解者の中から抽選で5名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1000円分」をプレゼントします！

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、下記までご応募ください。今月号の締め切りは1月31日(火) (当日消印有効)です。

メールでも応募できます!!

はがきと同様に必ず上記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞1月号クロスワード応募」と入力のうえ

higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。



応募はコチラ

【ご注意】◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報はプレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」に掲載する場合があります。

宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る  
東本願寺出版「クロスワードパズル係」まで

編集室  
だより

◇人に自分の思いを伝える。わかってくれている、言う必要はない。私の一方的な思い込みで大切なことまで伝えるのをやめてしまっていないか。今月号の編集では、あらためてそんな自分の姿と向き合う時をいただきました。伝えるということは、出あった一人ひとりとどんな関係を紡いでいきたいのかということともつながります。ありがとう、ごめんなさい、だいすき、助けて。ささやかな日常の中で、私の心

動きをあきらめることなく言葉にして表現していきたいと思います。◇最近、お会いした方々と「次は慶讚法要でお会いしましょうね」と言葉を交わしたり、読者のお便りで「慶讚法要に参拝するのを今から楽しみにしています」とのお声をいただくことが増えました。一生に一度のご法要。今だからこそお届けできる情報をより丁寧にお伝えしたいと思います。みなさまのご参拝を心よりお待ちしております。(高月)

## 月刊誌『同朋』お試し購読キャンペーン

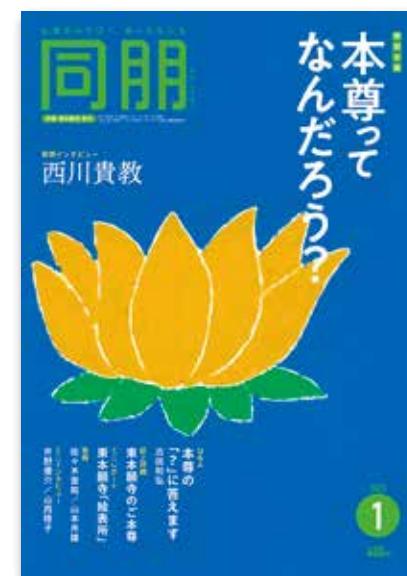
詳細は東本願寺出版HP⇒



月刊誌『同朋』は、「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、一般の方々にも読んでいただける雑誌として、東本願寺出版より毎月1日に発行しています。

1月号の主な内容

巻頭  
インタビュー 西川貴教さん(アーティスト)



「本尊ってなんだろう？」

特別企画 Q&A本尊の「？」に答えます/古田和弘さん(大谷大学名誉教授、九州大谷短期大学名誉学長)ほか

連載 「親鸞万華鏡」、「和讃の響き」、「野菜が主役のみんなのおやつ」など

表紙リニューアル(2023年1月号～)

北村人さん(絵本作家・イラストレーター)が毎月の特集テーマに合わせてクレヨンで描いた素朴なタッチの絵の表紙です。

お試し購読からはじめてみませんか？  
今ならお得に3ヵ月間お読みいただけます！

〔申込期間〕

1月1日(日)～2月28日(火)

『同朋』2023年1月号～3月号までの3ヵ月分

通常2,100円(送料込)

通常の半額以下!

1,000円(送料込)

さらに

お試し購読から引き続き年間購読のお申込みで

愛読いただいている方が本キャンペーンをお友達にご紹介で

※ご紹介いただいたお友達がお試し購読をお申込みの場合に限ります

東本願寺オリジナルグッズをプレゼント！

お申し込みは E-mail books@higashihonganji.or.jp TEL 075-371-9189 FAX 075-371-9211